

トピックス

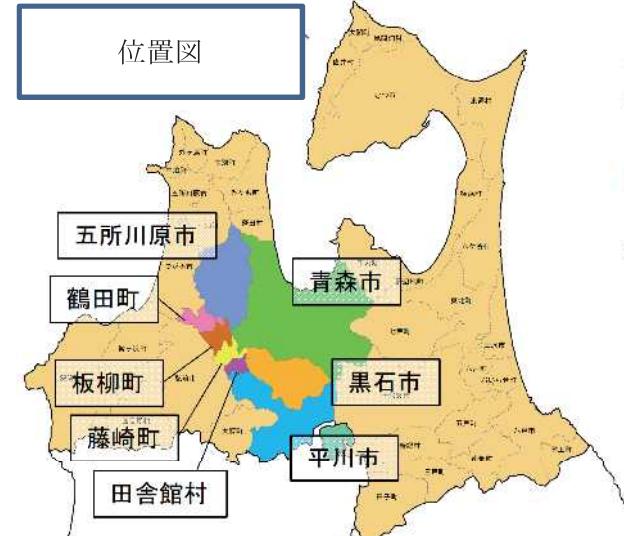
～ 浅瀬石川二期地区 着工！！～

本地区は、青森県西部岩木川右岸に展開する津軽平野の南西部に位置し、岩木川の支流浅瀬石川及び十川を主水源としているが、河川流量の不足から恒常的な用水不足をきたしていました。また、水路は未整備であったことから地区の大半が湿田及び半湿田状態にあり、水田の高度利用や農業の生産性の向上が阻害されていました。

このため、昭和50年度から平成7年度にかけて国営浅瀬石川土地改良事業を行い、二庄内ダムの築造、頭首工の統合新設、揚排水機場や基幹用排水路の新設改修等を行いました。併せて、関連事業により、末端排水路の整備、区画整理等を実施し、農業経営の安定と近代化を図りました。これにより、水源が確保され、洪水の被害も減少しました。

しかし、経年的な施設の劣化により、コンクリート構造物にひび割れ、欠損等が生じ、電気機械設備についても故障が生じているなど、農業用水の安定供給及び排水機能の維持に支障を来しているとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力を要しています。

さらに、施設の耐震性についても課題があるため、本事業では、老朽化が進行している施設を改修し、これと一体的に施設の耐震化のための整備を行います。併せて関連事業で区画整理を実施することにより、農業用水の安定供給、排水機能の維持、施設の維持管理の費用と労力の軽減及び営農の合理化を図り、農業生産性の向上及び農業経営の安定に資することを目的としています。



事業概要

- 関係市町村 青森市、黒石市、五所川原市、平川市、藤崎町、田舎館村、板柳町、鶴田町
- 受益面積 田：7,671ha、畑：168ha
- 予定期限 令和3年度～令和18年度
- 事業費 410億円
- 主要工事 二庄内ダム 1カ所 改修
揚水機場 2カ所 改修
幹線用水路 L=52.1km 改修
水管理施設 1式 改修
頭首工 4カ所 改修
排水機場 3カ所 改修
幹線排水路 L=18.5km 改修
- 環境配慮 本事業で改修する予定の中泉幹線排水路内に希少種のアサザ（環境省レッドデータブックでは準絶滅危惧種）が確認されました。排水路の改修では軽量鋼矢板の更新を行う計画であり、その際に堆積土の排除を行う必要があります。そのため、藤崎町のビオトープに試験移植を行いました。

【現状写真】



【二庄内ダム】
ダム湖面の法面保護工の欠落



【浅瀬石川第一頭首工】
耐震性を有していない



【相原排水機場】
吸水槽付近の地盤沈下



【温湯左岸第2幹線用水路】
凍害による損傷



【中泉幹線排水路】
排水路軽量鋼矢板の腐食



ビオトープに移植されたアサザ

津軽土地改良建設事務所のある黒石市ってこんなところ

事務所は、青森県黒石市の廃校になった小学校の建物を活用しています。黒石市は、日本三大流し踊りである「黒石よされ」や日本の道100選に選ばれた「中町こみせ通り」など懐かしい日本の原風景を色濃く残しています。農業では、リンゴやトマトの他、近年、黄味香（きみか）メロンの販売に力を入れています。

青森県に来る機会があれば、「黒石にもこいへ～（来てください）」



【黄味香（きみか）メロン】



新 施 策 紹 介

～ 流域治水の取組について～

(1) 農業用ダムの洪水調節について

気候変動により、近年、発生する台風等をはじめとした水害については、激甚化・頻発化しています。こういった状況を受け、農業用ダムをはじめ既存ダムの洪水調節機能強化の取り組みが行われています。

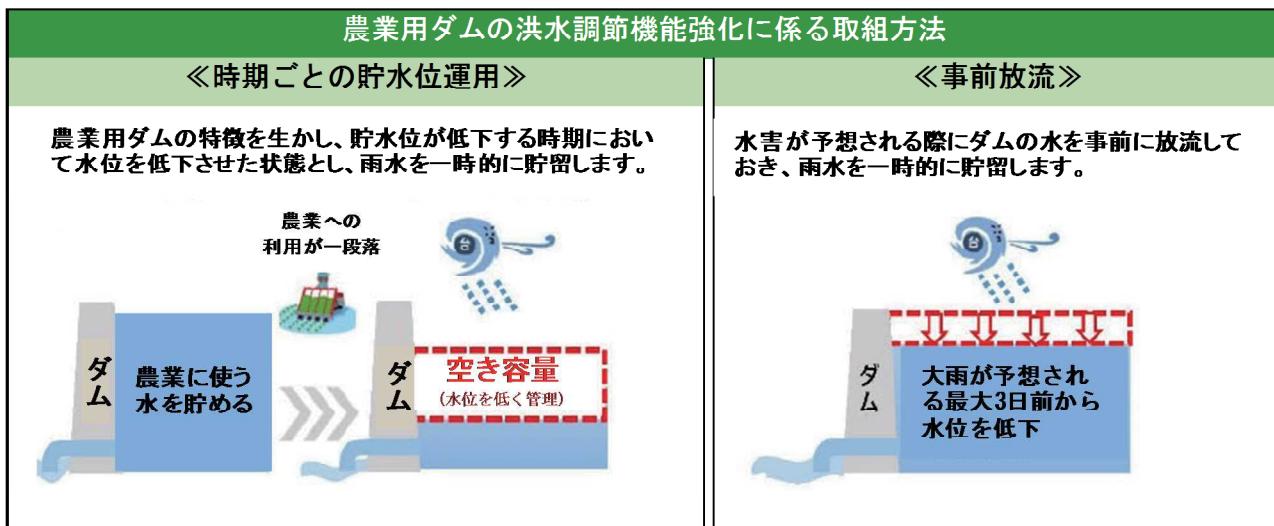
洪水調節機能の強化は、洪水調整可能容量の範囲内において、『時期ごとの貯水位運用』と『事前放流』により取り組むもので、農業用ダムの特性や対象となる個々のダムの構造や規模、放流設備、管理体制、関係する土地改良区への影響等の水利用の状況などを考慮した上で、ダムの安全性を確保しつつ効果的に取り組むこととしています。

その結果、全国の一級水系にある農業用ダムでは、事前放流等により洪水調節に利用できる貯留量は約4億m³を確保されます。



台風第9号から変わった温帯低気圧による大雨被害
(青森県東北町) (R3.8) 東北農政局 HP から

◇農業用ダムの洪水調節機能強化にかかる取組方法



全国の一級水系にある農業用ダムでは、洪水調節のために約4億m³の貯留量を確保することとしています。
これは、東京ドーム約320杯分にあたります!



×約320杯

※ダムで確保できる容量には限りがあり、事前放流等では水害を完全に防ぐことはできません。
日頃から、地域のハザードマップを確認し、大雨時には警戒情報の確認を心がけ、避難勧告等があった場合には速やかな避難をお願いします。